

運動と感動を 今日（京）この瞬間から 未来へ 第 52 回京都府スポーツ推進委員研究大会

府内のスポーツ推進委員が一堂に会し、体育・スポーツに関する諸問題について研究協議を深め、スポーツ推進委員の資質向上を図ることを目的として府内各地から 288 名の委員が参加して開催されました。

山城地方スポーツ推進委員協議会が大会を主管し、昨年 2 月に城陽市で開催された近畿大会の経験から、様々なことを想定した企画・運営をしていただきました。

スポーツ実施率向上のために、国が昨年 9 月に策定した行動計画にある「スポーツ・イン・ライフ」の実現を目指して研究大会で学んだことを生かし、地域が元気になるようにと願う齊藤会長から開会挨拶がありました。

令和元年度京都府スポーツ推進委員功労者表彰は、17 名を表彰し、賞状と盾が齊藤会長より贈呈されました。

日 時 令和元年 6 月 30 日（日）午前 9 時 50 分～午後 3 時 30 分

会 場 精華町むくのきセンター

内 容 (1) 開会式・表彰式
(2) 講演
(3) ポスター形式発表（京都市・乙訓・南丹・中丹・丹後ブロック）
(4) 分科会（実技研修Ⅰ、実技研修Ⅱ、理論研修）

<開会式>

京都府スポーツ推進委員協議会 木佐一副会長の開会宣言で開幕し、来賓の精華町 木村町長、山城地方教育委員会連絡協議会 松本会長から御祝辞をいただきました。

<表彰式>

長年にわたりスポーツ推進委員として地域の体育・スポーツの振興に尽力された方々の功績を讃えて、令和元年度京都府スポーツ推進委員功労者表彰の受賞式を行いました。受賞者を代表して相楽東部広域連合スポーツ推進委員 林 嘉人 様に齊藤会長から賞状と盾が授与され、受賞者を代表して、林 嘉人様から謝辞がありました。



祝辞 精華町 木村町長



功労者表彰の受賞者の皆様



謝辞 林 嘉人 氏（相楽東部）

<ポスター形式発表>

発表者と参加者がそれぞれのポスターの前で討論する「参加・交流型」の発表を実施しました。発表者との距離が近く、気軽に質問ができ、質疑応答を活発に繰り広げることを目的としています。今年度はより完成度の高いポスターや、顔出しパネルの設置、実演をするなど工夫が見られ、参加者も楽しんでいる様子でした。



<講演>

障がい者スポーツに焦点を当てた講演でした。本協議会においても、障がい者スポーツの指導者資格取得の支援事業を実施しているところです。本講演は、2004年アテネパラリンピック車いす1600mリレー銅メダリスト、オムロン京都太陽株式会社の寒川 進様に「障がい者となつてからの第二の人生」と題して、「目標を持って前向きに一生懸命やれば必ずできる」ということを経験談からお話いただきました。また、実際に競技で使用している車いすに乗り換えるの実演もしていただき、初めて見る参加者も多く、興味を持って聞いていました。



<分科会>

○実技研修Ⅰ『リレーボール de シュート!』

○実技研修Ⅱ『新体カテスト』

山城地方スポーツ推進委員協議会女性委員会の指導でカーペンターズの「イエスタデイワンスマア」の曲に合わせて、ゆっくりとしたリズムでストレッチも含みながら準備運動をおこないました。その後、「リレーボール de シュート!」と八幡市、久御山町、井手町のスポーツ推進委員会による「新体カテスト」を行いました。参加者は真剣な表情で挑戦していましたが、結果に苦笑している人も見られました。最後の20m シャトルランではみんなの声援を浴びながら120回を超える人もいました。

ケガ人もなく、全員無事で良い汗を流しました。



○理論研修

分科会の理論研修では「心と体を同時に刺激するエクササイズ」と題して京都大学医学部医学研究科の青山 朋樹 教授に講演をしていただきました。講義とエクササイズを交えての研修でスポーツ推進委員としての知識や指導法を学ぶ良い機会になりました。

